

9月は世界アルツハイマー月間です 認知症とともに生きるために

健康福祉課地域包括支援センター ☎ 25 1182

認知症ってどんな病気？

認知症は、なんらかの原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったりすることで、これまで培ってきた記憶や考えるなどの認知機能が低下し、日常生活を送る上で支障が出てくる状態のことをいいます。

もの忘れや被害妄想、^{げんし}幻視（見えないはずのものが見える）など症状は一人ひとり違います。

認知症は一部の病気を除き治すことはできません。しかし服薬や周囲の対応などにより進行を緩やかにできます。

認知症のかたは誰より早く認知機能の低下に気づき、大きな不安を抱えている場合があります。



認知症のかたや家族への支援

1. 認知症初期集中支援チーム

認知症の知識を特に持つ医師・医療職・介護職からなるチームです。

●チームの対象者は？

認知症状が心配される人や、認知症状があり対応が難しいかたです。

●チームの活動内容

対象者とその家族などからの聞き取りをした上で、チームで会議を行い支援の方針を決定します。

対象者が医療や介護サービスへつながることを目標に支援します。

支援期間は最長 6 か月間です。

認知症初期集中支援チーム (オレンジチーム)



2. 認知症の人を見守る～認知症サポーター養成講座～

認知症は誰でも発症する可能性があります。症状を悪化させないためには、周りのかたが症状や薬、認知症の人への接し方などの正しい知識を持ち、温かく支援することが大切です。

認知症になっても誰もが住みやすい地域となるよう、ぜひ認知症について知る機会をもってみませんか。

3. 最後に

周りのかたに認知症状が見られ、対応に困っている場合は抱え込まずに相談することが大切です。

認知症サポーター養成講座

- とき** 10月28日(金) 午後1時30分～3時
- ところ** 保健福祉センターひだまり2階・ひだまりホール
- 定員** 10人
- 申込期限** 10月24日(月)
- 申込先** 地域包括支援センター

※今回の教室以外でも少人数(5人程度)から伺わせていただきますので、ぜひ、連絡してください。

知って得する認知症講演会! ～コロナによる認知症との関係～ (来場&オンライン)

コロナ禍で外出回数が減り、人との交流も少なくなることで認知症のリスクが高くなっています。だからこそ、認知症の予防・接し方のアイデアを見つけてみませんか。

とき 10月13日(木) 午後1時30分～3時

ところ ①保健福祉センターひだまり2階
ひだまりホール(定員40人)

②答志和具コミュニティセンター(定員20人)

③桃取コミュニティセンター(定員30人)

④神島開発総合センター(定員20人)

⑤菅島診療所(定員10人)

講師 いせ山川クリニック 山川伸隆 医師

参加費 無料

申込期限 10月7日(金)

申し込み・問い合わせ

①・②・③健康福祉課・地域包括支援センター
(☎ 25 1182)

④しおさい(☎ 38 2722)

⑤菅島診療所(☎ 34 2149)